

2次流通市場を開拓 興行主との提携推進

チケットストリート 西山 圭会長

ライブコンサートや演劇などのチケットの2次流通サービスは、日本ではまだ広く認知されていない。しかし、海外では野球の米大リーグや米プロバスケット協会（NBA）などで、チケットの転売を目的とした2次流通サービス会社が公認されており、売り主と買い手のマッチングに貢献。興行収益の一翼を担っている。

携帯電話用コンテンツ（情報の内容）を開発していた西山圭会長と山本翔社長は、スマートフォン（高性能携帯電話）の急速な普及で将来性を悲観して、新たなビジネスチャンスを探索。急成長していた海外のチケット2次流通市場に目を付けて、3年前にチケットストリートを設立した。

西山会長は「日本ではオークションサイトや金券ショップなどがあるだけで、個人取引は野放し状態だった。興行主と一緒に



にやれば市場を伸ばしていけると考えた」と新市場育成に意欲を燃やした。

チケット2次流通とは、購入したチケットを売りたい人が、買いたい人にチケットを売る行為。古物商の許可さえあれば、転売目的の買い占めや公共の場所で販売しなければ合法だ。現在はヤフーオークションなどネット競売が一般的だが、料金を振り込んでもチケットが届かなかったり、偽物が届いたなどト

にしやま・けい 慶大商卒。サン・マクロスシステムズ（現オラクル）日本法人入社。2000年にアサップネットワークス設立、モバイルコンテンツ事業など参入、11年8月に山本翔氏（現社長）と共同でチケットストリート設立、現職に。39歳。

ラブルが付きもので、利用には不安がつきまとう。

チケットストリートは、そのような不安を取り除くため、販売希望者の身元チェックや偽物チェックを徹底しているほか、独自サービス「安心プラス」をオプションで提供している。購入額の10%で利用でき、例えばライブが中止や延期になったり、偽物だった場合、購入金額を全額返金する。現在、同社でチケット購入者の半数が利用し

ているという。

チケット売買は同社のサイトまたはヤフーや楽天、モバオクのオークションサイトで行えるが、販売希望者が提示した価格を見て、購入したければクリックすればいい。通常のオークションと異なり、値段がつかないことはない。売れなければ値段を下げることも可能だ。

先日の、ポール・マッカートニーさんのライブの際は、全公演が中止になり、チケットストリートで売った約200枚のうち「安心プラス」利用者の約100枚は購入額の全額が返金された。主催者は定額チケット代しか返金しないが、安心プラスなら高額になりがちな人気アーティストのチケットでも安心して購入できる。

今年2月に発表した日本バスケットリーグ（NBL）がチケ

ットストリートと提携し、これまで認めていなかった観戦チケットの転売・払い戻しが可能になった。西山会長は「2次流通市場はチケット購入のリスクを減らし、購入決断を早める成果がでている。興行主に理解してもらいたい」と述べ、興行主との提携拡大に奔走している。

（芳賀由明）

■会社概要

- ▷本社—東京都品川区西五反田2-27-4 明治安田生命ビル
- ▷設立—2011年8月
- ▷資本金—6590万円
- ▷従業員—30人
- ▷売上高—20億円（15年3月期見込み）
- ▷事業内容—チケット売上の2次流通サービス